

医薬食品局総務課

課長 中澤（内線2706）

原田（内線4210）

平成19年12月26日

医薬食品局総務課

田辺三菱製薬株式会社におけるフィブリノゲン製剤に係る418症例報告
調査プロジェクトチームの活動状況等の報告について

田辺三菱製薬株式会社から、フィブリノゲン製剤に係る418症例報告調査プロジェクトチームの活動状況等のその後の状況について、別添の通り報告がありました。



田辺三菱製薬株式会社
〒541-8505 大阪市中央区道修町 3-2-10

平成 19 年 12 月 25 日

厚生労働大臣
舩添 要一様

田辺三菱製薬株式会社
代表取締役社長 葉山 夏樹



フィブリノゲン製剤に係る 418 症例報告調査プロジェクトチーム
活動状況等の報告について

標題の件、弊社の「418 症例報告調査プロジェクトチーム」の活動状況等に関し、
下記のとおりご報告申し上げます。

記

1. 418 症例リストと患者様の特定等に関する状況
別紙のとおり

以上

418 症例リストと患者様の特定等に関する状況

平成19年12月21日現在
※[]内は12月14日報告数値

		症例数	ほぼ特定できた 症例数	本人へのお知らせ 及び受診勧奨を 行った症例数
氏名情報	フルネーム	197	145 [140]	59 [49]
	略名又は イニシャル	170	128 [122]	54 [50]
	記載なし	51	21 [20]	7 [7]
計		418 注1,4)	294 [282] 注2, 3)	120 [106] (うち、治療中:44) (うち、治療済:23)

注1) 10月22日以来、418症例のリストに対応する医療機関の特定作業を行い、厚生労働大臣の指示に基づいて、現在、①患者様の特定、②受診勧奨、③患者様がお亡くなりになっている場合は、ご遺族の方へのお知らせの3点について各医療機関にお願いをしております。

この調査状況の表は、10月29日以降12月21日までの間に、全国の医療機関を数回訪問し、それぞれの医療機関でご調査いただいた結果について聴取し、集計したものです。

注2) 「ほぼ特定できた症例数」とは、医療機関からのお話で、特定できたと判断される事例です。

現在、当該医療機関において、カルテや患者様を担当された医療関係者の記憶など種々の情報に基づき特定作業が行われており、特定作業が終了した症例については、それぞれの医療機関のご判断に基づき、ご本人へのお知らせが行われております。

注3) 「ほぼ特定できた症例数」のうち、直接ご本人へのお知らせが不可能な症例数は、89例となりました。そのうち、ご本人がお亡くなりになられている症例数は、57例となっております。

なお、上述のご本人がお亡くなりになられている57例のうち、医療機関から既にご遺族に連絡済みの症例数は、19例とお聞きしております。

注4) 患者様の特定のための調査について慎重な姿勢を採られる医療機関は、12月21日時点で5施設ありました。

以上

